

医療機関における電波管理に関する認定制度の調査 アンケート回答用 Web ページ

1) 調査目的

医療分野では、医療機器や医療用設備管理など、特定の分野での専門的な知識を有することを認定する制度が運用されており、これらの認定制度は医療の質や安全性の向上に大きく寄与しています。

電波環境協議会^{※1}に設置された「医療機関における電波利用推進委員会」（以下「委員会」といいます。）においては、医療関係団体や機器製造販売業者等のほか、総務省及び厚生労働省が参加し、医療機関における適正な電波利用推進に向けた検討が行われており、総務省は委員会と連携し、医療機関を対象としたアンケート調査を定期的実施しています。

昨年度（2024 年度）は 9 月～10 月に全国の病院を対象として「医療機関における適正な電波利用推進に関する調査」を実施しており、本調査は、昨年度の調査結果を踏まえて、医療分野の認定制度の現状について調査するとともに、医療機関における電波の管理に関する認定制度のあり方や運用方法についてご意見を伺うことを目的としています。

（※1）電波環境協議会：電波による電子機器等への障害を防止・除去するための対策を協議する関係機関の協議体（構成員：通信・放送事業者、メーカー、通信分野・医療機器分野等の団体、各関係省庁等。事務局：電波産業会）。

URL：<https://emcc-info.net/>



(HP リンク)

2) 調査項目

本調査は、以下の調査項目についてお伺いします。

1. ご回答者の基本情報
2. 医療機関における電波管理に関する認定制度

3) ご回答をお願いしたい方

本調査の依頼は、医療分野の認定制度を運用している団体の会員を対象に実施しております。個人としてのお考えをご回答いただきますようお願いいたします。

4) ご回答方法

本ページから、表示される設問にご回答下さい。アンケートは最大で 15 問、回答所要時間は約 10 分です。回答の最後に、全ての回答内容を一覧で確認することができます。

5) その他

- ・ 本調査結果は、今後の施策立案のために利用し、その内容を公表することもあります。
- ・ 回答いただいた内容は統計的に処理され、個別データが公表されることはありません。
- ・ 本調査は、総務省より業務を委託されている株式会社三菱総合研究所が実施します。本調査票についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

株式会社三菱総合研究所 モビリティ・通信政策本部

「医療機関における電波管理に関する認定制度の調査」担当（丸田・尾崎・岩田）

TEL 03-6858-3569 / E-mail: em-survey2025@mri.co.jp

1. ご回答者の基本情報

Q1. あなたの所属について、当てはまるものを1つお選び下さい。複数の所属に該当する場合は、より多くの時間を割いている所属をお選びください。[SA]

1. 医療機関 医療職（医師、看護師、薬剤師、臨床工学技士、他の医療技術職 等）
2. 医療機関 非医療職（情報システム、経営、総務、施設・設備 等）
3. 学生（大学、医療職養成施設（専門学校等） 等） →Q4.に進む
4. 医療機器メーカー・販売会社 →Q4.に進む
5. 医療用システム・ソフトウェアベンダ →Q4.に進む
6. 医療設備メーカー・販売会社 →Q4.に進む
7. 建築会社 設計・施工部門 →Q4.に進む
8. 建築会社 その他（研究開発部門 等） →Q4.に進む
9. 無線機器メーカー・販売会社 →Q4.に進む
10. 現在就業していない →Q4.に進む
11. その他（具体的に： ） →Q4.に進む

Q2. Q1.で「医療機関」に所属していると回答した方にお伺いします。勤務している医療機関の規模について、当てはまるものを1つお選び下さい。[SA]

1. 病院（100床未満）
2. 病院（100～200床未満）
3. 病院（200～400床未満）
4. 病院（400床以上）
5. 有床診療所
6. 無床診療所
7. その他（具体的に： ）

Q3. Q1.で「医療機関」に所属していると回答した方にお伺いします。所属している医療機関の臨床工学技士の在籍数について、当てはまるものを1つお選び下さい。[SA]

1. 0名
2. 1名～5名
3. 6名～10名
4. 11名以上
5. わからない

Q4. 現在、または過去にどのような分野の認定制度（国家資格は除く）を取得していますか。当てはまるものをすべてお選び下さい。[MA]

1. 医療安全（医療安全管理者養成研修 等）
2. 医療機器（MDIC 認定制度 等）
3. 医療設備管理（ホスピタルエンジニア認定制度 等）
4. 医療情報（医療情報技師資格認定 等）
5. その他（具体的に： _____）

Q5. 認定制度の取得の際に、どのような点に重点を置いていますか。当てはまるものをすべてお選び下さい。[MA]

1. 専門知識が深まり、業務に活用できる
2. 特定の役職や責任のある立場に就ける
3. 院内外での評価や信頼が高まる
4. キャリア形成や昇進につながる
5. 認定者同士のネットワークや情報共有の機会が得られる
6. 個人に金銭的なメリットがある
7. その他（具体的に： _____）
8. 特にない＜排除＞

Q6. 医療機関における電波管理に関する知識を求められたことはありますか。当てはまるものを1つお選び下さい。[SA]

1. 電波管理に関する知識を求められたことがある
2. 電波管理に関する知識を求められたことがない →Q9.に進む

Q7. Q6. で「電波管理に関する知識を求められたことがある」と回答した方にお伺いします。具体的にどのような知識が求められましたか。当てはまるものをすべてお選び下さい。[MA]

1. 無線 LAN のエリア設計
2. 無線 LAN のアクセスポイントの設定
3. 無線 LAN を利用する医療機器の管理・設定
4. 医用テレメータのチャンネル管理・設定
5. 医用テレメータの不感エリアの調査・対策
6. 携帯電話の不感エリアの調査・対策
7. 携帯電話による医療機器への影響
8. 電波に関するトラブルへの対応
9. その他（具体的に： _____）

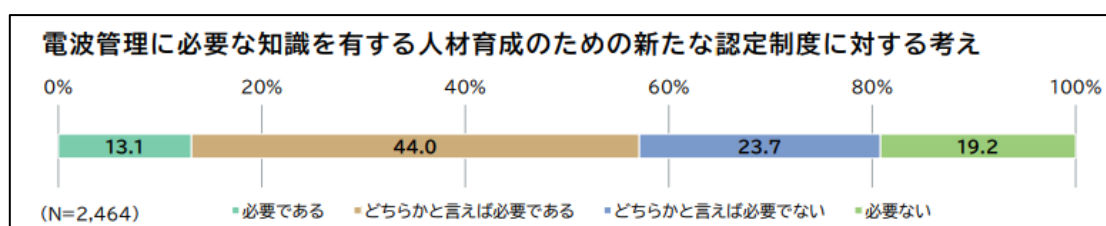
Q8. Q6. で「電波管理に関する知識を求められたことがある」と回答した方にお伺いします。電波に関する知識はどのように取得していますか。当てはまるものをすべてお選び下さい。[MA]

1. 高校や大学のカリキュラムの一環で取得している
2. 個人的に書籍やインターネットから取得している
3. 医療機関内での講習で取得している
4. 取得している認定制度の学習の一環で取得している
5. その他（具体的に： _____）
6. 電波に関する知識は取得していない＜排他＞

2. 医療機関における電波管理に関する認定制度

無線 LAN をはじめ、医療従事者用のスマートフォン導入や患者の生体情報の遠隔モニタリングなど、医療 DX の推進においても医療機関の電波利用が広がる中、電波によるトラブルを防止するため電波環境を適切に管理することが重要になっています。

そのような背景の中、総務省・厚生労働省との連携の下、電波環境協議会が 2024 年 9 月～10 月に実施した「医療機関等における適正な電波利用推進に関する調査」では、「医療機関における部門横断の電波管理に必要な知識を有する人材（仮称：電波利用コーディネータ）を育成することを目的に、新たに認定制度を導入すること」について、「必要である」「どちらかと言えば必要である」と回答した病院は全体の約 6 割でした。



上記のアンケート結果を踏まえて、電波管理に関する認定制度についてお伺いいたします。

Q9. 医療機関における電波管理に関する認定制度を導入する場合、認定方法はどのような運用方法が適当だと考えますか。当てはまるものを1つお選び下さい。[SA]

認定方法
1. 研修の受講のみによる認定
2. 試験の受験のみによる認定
3. 1. 研修の受講、2. 試験の受験どちらも実施したうえでの認定
4. その他（具体的に： ）

Q10. 医療機関における電波管理に関する認定制度を導入する場合、認定の更新方法はどのような運用方法が適当だと考えますか。当てはまるものを1つお選び下さい。
[SA]

認定の更新方法
1. 研修の受講のみによる更新
2. 試験の受験のみによる更新
3. 1. 研修の受講、2. 試験の受験どちらも実施したうえでの更新
4. その他（具体的に： ）

Q11. 医療機関における電波管理に関する認定制度で認定される専門知識のレベルについて適切だと思うものをすべてお選び下さい。[MA]

1. 電波に関する基本的な知識（電波の性質、電波干渉の基本的な仕組み 等）
2. 無線システムに関する基本的な知識（チャネルの管理、規格、周波数帯 等）
3. 無線システムのベンダ（外部事業者）とコミュニケーションが可能なレベルの知識（アクセスポイントの設置、設定に関する基本的な理解、ネットワークに関する基本的な理解 等）
4. 無線システムのベンダ（外部事業者）と同程度の専門的な知識（電波環境調査を独力で実施できる、トラブルの原因を技術的に分析できる 等）
5. その他（具体的に： _____）

Q12. 医療機関における電波管理に関する認定の取得により、どのようなインセンティブに期待しますか。当てはまるものをすべてお選び下さい。[MA]

1. 専門知識が深まり、業務に活用できる
2. 特定の役職や責任のある立場に就ける
3. 院内外での評価や信頼が高まる
4. キャリア形成や昇進につながる
5. 認定者同士のネットワークや情報共有の機会が得られる
6. 個人に金銭的なメリットがある（例：資格手当等）
7. その他（具体的に： _____）
8. 特にない＜排除＞

Q13. 医療機関における電波管理に関する認定を取得したいと思いますか。当てはまるものを1つお選び下さい。[SA]

1. 取得したい →Q15. に進む
2. 取得したくない

Q14. Q13. で「取得したくない」と回答した方にお伺いします。「取得したくない」と回答した理由について、当てはまるものをすべてお選び下さい。[MA]

1. 電波管理に関する専門知識が必要ではないから
2. 電波管理に関する専門知識の習得が難しいから
3. 個人へのメリットが考えにくいから
4. 既にほかの認定制度によって電波管理の知識を習得しているから
5. 現在の業務上、電波管理に関係がないから
6. その他（具体的に： _____）

Q15. 医療機関における電波管理に関する認定制度について、ご意見ご要望があればご自由に記載ください。[FA]

--

ご協力ありがとうございました